

大人の発達障がい



天塩の病院薬剤師の寺門です（病院の中にいる薬剤師です）。
今回は私が過去に精神科病院に10年勤務させて頂いた経験から「発達障害」について書かせて戴きます。

近年「大人の発達障がい」というワードをよく見かけるようになったと思いますか？

それに伴い、偏見や知識不足によるのいじめ、誤解なども数多く見受けられます。

また、小さいころや学生時代は目立った問題がなくても、就職や昇進をきっかけにその特性が原因となつてトラブルに発展する場合や、本人が全く察せない場合も特徴的です。その際、「本人の努力不足」「家庭のしつけ」「上司の教育」ではなく、発達障がいの視点からアプローチすることで解決するケースが多々あります。



ASD（自閉症スペクトラム）

- ・空気を読むのが苦手、言葉の比喻や裏の意味が分からない。
- ・人との距離感が独特で、一方的だったり、拒絶的だったりする。
- ・好きなテーマを語りだすと止まらない、人の話を聞くのが苦手。
- ・過去のことはよく覚えているが、未来を想像し予定を立てるのが苦手。
- ・時に過去の嫌な出来事がフラッシュバックして情緒不安定になる。
- ・視覚、聴覚などの感覚が過敏。
- ・同時に複数のことを処理するのが苦手。
- ・他者視点に立って考えることが苦手。



日本人の10人に1人は発達障害と言われていますが、厳密には10人中9人は該当するというデータがあります。そう考えると、世の中の人のほとんどが、「発達障がい」ということになります。発達障がいとそうでないのと線引きするのではなく、

ADHD（注意欠陥・多動性）

- ・常に動き回ったり思考がせわしない
- ・思い立ったことをすぐにやりたくなる。
- ・忘れ物やミスが多い。
- ・部屋が片付けられない。



大切なのは、その特性をグラデーションでとらえる事です。
発達障害のそれぞれの特徴を示します。（二部他より抜粋）
みなさん、いかがでしたか？ 該当する項目がたくさんあったかもし

SLD（限局性学習障害）

- ・知的な遅れや視覚や聴覚などに問題はないが、「読む」「書く」「聞く」「話す」「計算・推論」などの学習分野において著しい困難を有する。



れません。該当する項目で困っていたとしても、解決するプログラムが現在はいくらも存在しますので、気軽に専門医療機関に相談してください。
次回は、それぞれの特性に合った職業などを載せたいと思います。